

普及活動情勢報告（令和8年6月分）

高吾農業改良普及所

農業大学校生へのニラ産地紹介 ～未来の担い手候補の確保に向けて～



ニラ部会長の話を
聞く農業大学校生

6月12日、高知県立農業大学校で2年生23名を対象にJA高知県コスモスニラ部会長・副部会長と関係機関が佐川町のニラ産地の取組を紹介しました。
農業改良普及所では、発表資料の作成や当日の進行などを支援しました。
当日は、部会長と副部会長から生産現場の実体験が語られ、学生たちはうなずきながら熱心に聞き入っている姿が印象的でした。学生からは「農業のやりがいや、逆に難しいところは？」といった質問もあり、産地への関心の高さが伺えました。
農業改良普及所は、今後もニラの担い手確保を目指し、情報発信や体制整備など様々な取組を支援していきます。

サンショウ新規栽培者の現地確認 ～サンショウの産地振興～



サンショウほ場の現地確認
する普及指導員

6月19日、農業改良普及所は生産組織の代表とともに、佐川町、日高村で新たにサンショウ栽培を開始した新規栽培者の現地ほ場の確認・栽培指導を行いました。
農業改良普及所では、令和6年度から管内4町村の広報を通じてサンショウ作付けを呼びかけました。興味を持った方69名が栽培説明会に参加し、うち15名が栽培を開始しています。
当日は、苗木が定植されたほ場を回り、苗木の生育や、芽かき、誘引などの実施状況を確認しました。
農業改良普及所は、引き続き町村広報によるサンショウの新規作付け拡大に向けた呼びかけや、栽培希望者を対象とした栽培講習会を継続し、産地の振興を図っていきます。

茶の安定生産を目指して ～全員会の開催～



全員会の様子

5月22日、JA高知県佐川支所茶生産部会全員会が集落活動センターくろいわで開催され、生産者7名が参加しました。
部会ではそれぞれの茶の収穫期の前に茶工場の稼働開始時期等の検討を主な目的として全員会を開催しています。
会の中で、JAから今年が一番茶は昨年より出荷量が多く、販売単価も昨年より高かったことが報告されました。農業改良普及所からは、加工後に発生する白茎が多かったため降雨量が影響していると考えて、昨年11月からの降水量のデータを用いて説明しました。生産者からは「茶の芽が黄色かったが、味には問題がなかった」という声がありました。
農業改良普及所では、これからも茶の安定生産に向けた情報提供及び生産支援に取り組みます。

トマトの販売拡大に向けて ～関東・関西市場販促活動～



商品説明を行う生産者

5月22日、29日にJA高知県日高支所の高糖度トマト生産者4名と関東・関西の市場を訪問し、トマトの販売拡大に向けた協議を行いました。
農業改良普及所からは、資材価格高騰等に伴う栽培経費の現状について説明しました。
生産者からは、これまで規格外だったトマトの商品化の取組について説明があり、産地と市場が今後とも協力しながら、販売拡大に取り組んでいくこととなりました。
農業改良普及所では今後もトマト生産者の所得向上に向けた取組を支援します。